

## 6 乗り継ぎ環境

網形成計画では、公共交通相互の乗継利便性の向上を目標に、公共交通相互及び他の交通手段との乗り継ぎ時間の短縮を目標値として設定しています。

### (1) ひまわりバス及び名鉄名古屋本線相互の乗り継ぎ環境

ひまわりバスと前後駅及び豊明駅における名鉄急行列車（名古屋方面）間の乗り継ぎ可能本数は以下のとおりです。なお、名鉄急行列車及びひまわりバスともに、定時刻で発着した場合を想定しています。

表 目標値及び評価指標（網形成計画より抜粋）

目標	目標値	評価指標		
【目標1】 公共交通相互の乗継利便性を向上させます。	【目標値1】 公共交通相互及び他の交通手段との乗り継ぎ時間の短縮	【指標】公共交通相互の乗り継ぎ時間		
		評価項目	目標値[H33]	現況値[H28]
		拠点鉄道駅におけるひまわりバス⇄名鉄急行列車（名古屋方面）間3分以上10分以内乗り継ぎ可能本数	34本以上	29本

表 前後駅でのひまわりバス⇄名鉄急行列車間3分以上10分以内乗り継ぎ可能本数

#### 【午前】

ひまわりバス → 名鉄	名鉄 → ひまわりバス
前後駅 着	前後駅 発着
緑 7:30 → 急 7:42	急 6:51 → 緑 6:55
赤 7:39 → 急 7:51	急 7:42 → 赤 7:44
青 7:43 → 急 8:35	急 7:42 → 青 7:48
緑 8:25 → 急 9:05	急 7:50 → 緑 7:50
赤 9:02 → 急 9:18	準 8:22 → 緑 8:30
青 9:11 → 急 10:00	急 9:05 → 赤 9:07
緑 9:50 → 急 11:00	急 9:18 → 青 9:16
赤 11:02 → 急 11:16	急 10:16 → 緑 10:20
青 11:11 → 急 12:00	急 11:00 → 赤 11:07
	急 11:06 → 青 11:16
	急 11:16 → 緑 11:20
	急 11:46 → 緑 12:00

#### 【午後】

ひまわりバス → 名鉄	名鉄 → ひまわりバス
前後駅 着	前後駅 発着
緑 12:30 → 急 12:36	急 12:30 → 赤 12:37
赤 12:32 → 急 12:46	急 12:36 → 青 12:46
青 12:41 → 急 13:30	急 12:46 → 緑 12:50
緑 13:20 → 急 14:30	急 13:46 → 緑 13:50
赤 14:32 → 急 14:48	急 14:30 → 赤 14:37
青 14:41 → 急 15:30	急 14:36 → 青 14:46
緑 15:20 → 急 16:06	急 14:48 → 緑 14:50
赤 16:02 → 準 16:09	急 15:18 → 緑 15:30
青 16:11 → 急 16:18	急 16:00 → 赤 16:07
緑 16:55 → 急 17:00	急 16:06 → 青 16:16
赤 17:55 → 準 18:09	準 16:09 → 青 16:16
青 18:13 → 急 18:18	急 16:18 → 緑 16:20
緑 18:55 → 急 19:00	急 17:18 → 緑 17:20
赤 19:26 → 急 19:30	急 18:06 → 赤 18:12
青 19:23 → 急 19:30	準 18:09 → 青 18:18
緑 19:40 → 急 19:48	急 18:18 → 緑 18:20
	急 19:00 → 緑 19:05
	急 19:18 → 赤 19:31
	急 19:18 → 青 19:28

午前		午後	
ひまわりバス→名鉄	名鉄→ひまわりバス	ひまわりバス→名鉄	名鉄→ひまわりバス
11本	9本	20本	14本

表 豊明駅でのひまわりバス⇔名鉄急行列車間3分以上10分以内乗り継ぎ可能本数

【午前】

名鉄	→	ひまわりバス	→	名鉄
豊明駅 着		豊明駅 発着		豊明駅 発
普 6:55	→	青 7:08	→	急 7:16
準 9:36	→	赤 9:43	→	急 9:57
急 10:27	→	青 10:28	→	普 10:37

※午前7時以前は普通のみ

【午後】

名鉄	→	ひまわりバス	→	名鉄
豊明駅 着		豊明駅 発着		豊明駅 発
普 13:07	→	赤 13:13	→	急 13:27
急 13:57	→	青 13:58	→	普 14:07
準 16:36	→	赤 16:43	→	急 16:57
急 17:27	→	青 17:28	→	準 17:36
急 19:57	→	赤 20:00	→	準 20:06

午前		午後	
ひまわりバス→名鉄	名鉄→ひまわりバス	ひまわりバス→名鉄	名鉄→ひまわりバス
1本	1本	2本	2本

前後駅については、ひまわりバスのコースを2つに分けたことで乗り入れ本数が増加し、急行との乗り継ぎ可能本数を増やすことができました。一方で、豊明駅についても、準急及び急行の停車本数が1時間あたり2～4本と少ないですが、朝夕の時間帯で急行との乗り継ぎができるようダイヤ調整しています。結果、ひまわりバス全体として、急行との乗り継ぎ本数は大幅に増加しました。

## (2)中央循環コース及び南部循環コース相互の乗り継ぎ環境

前後駅を結節点として路線が分かれていることから、中央循環コース及び南部循環コース相互の前後駅における乗り継ぎ環境について以下にまとめます。

表 前後駅でのひまわりバス相互の乗り継ぎ時間

南部循環 着	→	中央循環 発
1便 7:30	→	赤 7:44 (市役所行)
	→	青 7:48 (衛生大行)
3便 9:00	→	赤 9:07 (市役所行)
	→	青 9:16 (衛生大行)
5便 10:50	→	赤 11:07 (市役所行)
	→	青 11:16 (衛生大行)
7便 12:30	→	赤 12:37 (市役所行)
	→	青 12:46 (衛生大行)
9便 14:20	→	赤 14:37 (市役所行)
	→	青 14:46 (衛生大行)
11便 16:00	→	赤 16:07 (市役所行)
	→	青 16:16 (衛生大行)
13便 17:55	→	赤 18:12 (市役所行)
	→	青 18:18 (衛生大行)

中央循環 着	→	南部循環 発
赤 7:39 (衛生大帰)	→	2便 7:50
青 7:43 (市役所帰)	→	
赤 9:02 (衛生大帰)	→	4便 9:20
青 9:16 (市役所帰)	→	
赤 11:02 (衛生大帰)	→	6便 11:20
青 11:11 (市役所帰)	→	
赤 12:32 (衛生大帰)	→	8便 12:50
青 12:41 (市役所帰)	→	
赤 14:32 (衛生大帰)	→	10便 14:50
青 14:41 (市役所帰)	→	
赤 16:02 (衛生大帰)	→	12便 16:20
青 16:11 (市役所帰)	→	
赤 18:07 (衛生大帰)	→	14便 18:20
青 18:13 (市役所帰)	→	

中央循環コースと南部循環コースでは、前後駅へ乗り入れる本数が違う(南部循環コースのほうが多い)ことから、南部循環コースの奇数便については、藤田保健衛生大学病院または市役所方面へのお出かけの“足”として、また、偶数便については、藤田保健衛生大学病院または市役所方面からのお帰りの“足”として、コース相互の乗り継ぎと移動の目的を考慮したダイヤ編成としています。

## 7 ひまわりバスでカバーできない地域への対応

網形成計画では、地域を主体として、行政、事業者が協働で、その地域ニーズにあった地域路線の導入を検討することとしています。

### (1) 地域路線について

ひまわりバスでカバーできない地域については、地域路線を検討・導入し、名鉄バスやひまわりバスと連携させることで、地域の移動の足を確保します。

地域路線のサービス確保の考え方を以下に示します。




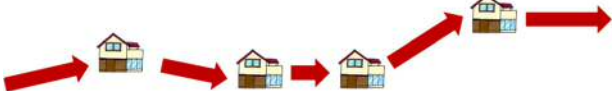
表 地域路線のサービス確保の考え方

機能分類	サービス確保の考え方	運行主体	該当する路線
地域路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行形式は、定時定路線またはデマンド型交通とし、地域住民、行政が連携しながら、導入を検討します。</li> <li>・ サービス内容は地域のニーズや実状を踏まえ、地域が主体的に設定します。</li> <li>・ ※<u>広域幹線、市内幹線、拠点連絡路線との競合を回避したルート及びダイヤを設定します。</u></li> <li>・ 広域幹線、市内幹線、拠点連絡路線との乗継利便性の確保に留意したダイヤを設定します。</li> </ul>	地域・行政	—

※広域幹線、市内幹線：名鉄バス 拠点連絡路線：ひまわりバス

(資料：網形成計画)

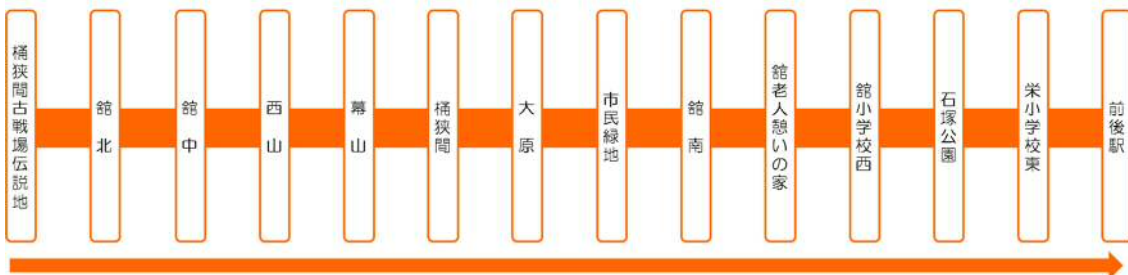
表 バスの運行形態及び運行方法

運行形態	運行方法
定時定路線型	<p>名鉄バスやひまわりバスのように、利用者の有無にかかわらず、定められたルートを定められた時間に運行する。利用者は、運行ルート上に定められたバス停で乗降する。</p> 
デマンド型	<p>定時定路線と同様に、所定のバス停で乗降するが、予約があった場合のみ運行し、予約がなければ運行しない方式。</p> 
	<p>定路線型をベースに、予約に応じて所定のバス停まで迂回させる運行方式。バス停まで遠い地域に迂回ルートを設定することにより、交通空白地区を解消することができる。</p> 
	<p>運行ルートやバス停等は設けず、指定エリア内で予約のあったところを巡回するドアツードアのサービスを提供する運行方式。</p> 

## (2) 定時定路線具体例【地域路線(館ルート)】

館地区については、ひまわりバスより小型の車両（ジャンボタクシー型）を導入し、桶狭間古戦場伝説地及び前後駅を起点として、これまでひまわりバスがカバーしていた人口密集地と、前後駅南側の商業施設を密につなぐ路線の導入を検討します。

例 地域路線（館ルート）





## (2) デマンド型具体例【チョイソコとよあけ】

超高齢者社会が予想されるなか、本市においても、住んでいる地域で日常的に買い物をしたり、生活していくうえで必要なサービスなどを受けたりするのに困難を感じる方、いわゆる「買物弱者」が増加することが見込まれます。

健康寿命を増進させ、いつまでも健康で暮らしていくことができる地域づくりを目的として、病院、薬局、買物、フィットネスなど、高齢者の生活や健康に必要な近隣のお店へオンデマンド型ライドシェア（乗合交通）によって送迎するサービスが「チョイソコ とよあけ」です。

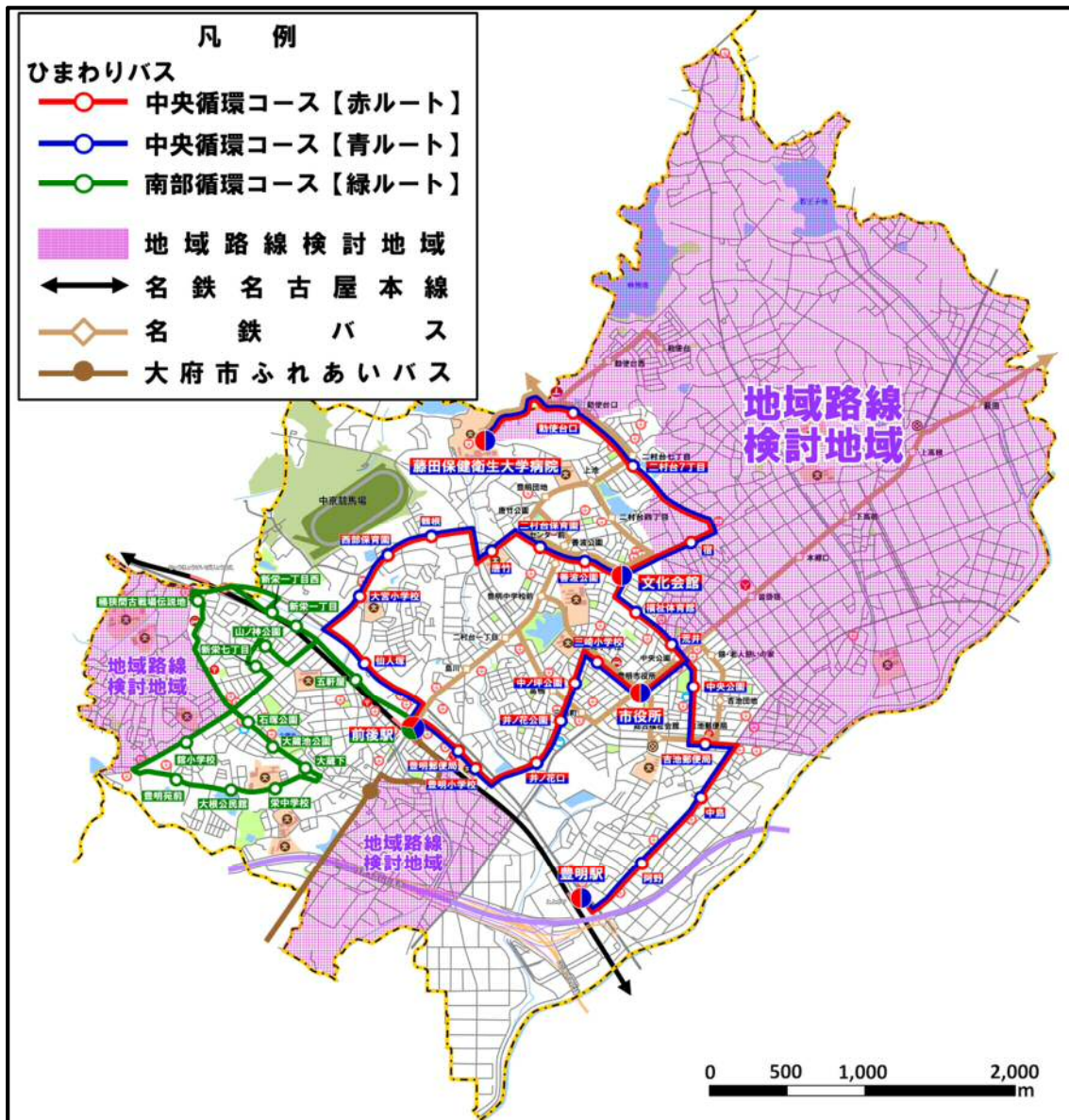
健康増進のための乗り合い送迎サービス「チョイソコ とよあけ」



## 8 市内全域図

名鉄名古屋本線、名鉄バス、ひまわりバス、地域路線等の多様な公共交通が相互に連携し、市民の市内外の日常的な生活行動や地域の移動ニーズに応じた公共交通ネットワークを形成することで、「公共交通が人と人をつなぐ しあわせのまち」を実現します。

図 市内公共交通ネットワーク図



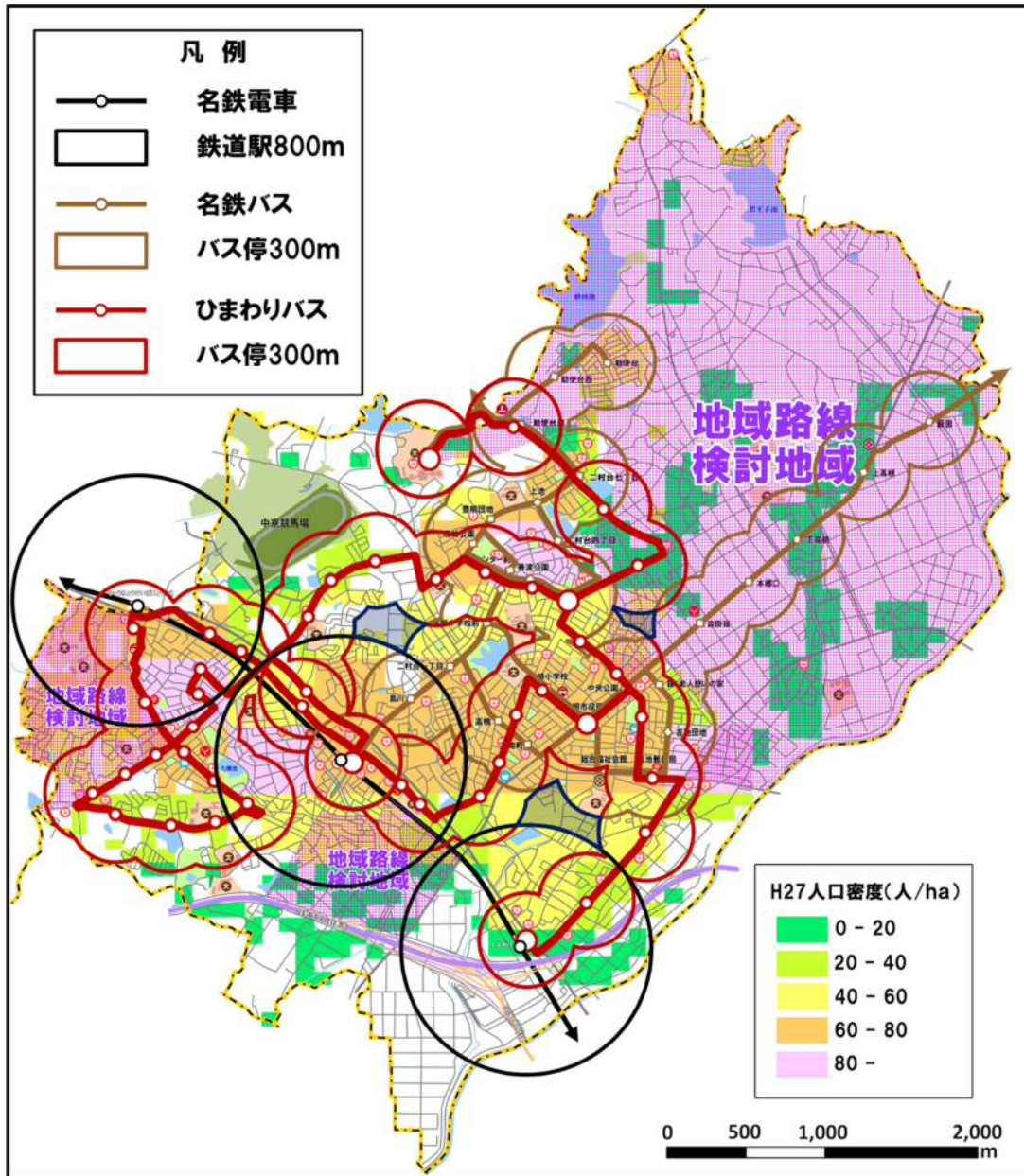
路線名		運行開始	運行終了	1便あたりの 所要時間	走行距離 (1便あたり)	便数
中央循環 コース	赤ルート	6時45分	20時00分	74分	13.3km	4便
	(豊明駅経由)			100分	19.5km	4便
	青ルート	6時55分	20時00分	70分	13.3km	5便
	(豊明駅経由)			100分	19.5km	4便
南部循環 コース	緑ルート	6時55分	19時40分	35分	8.1km	8便
	(偶数便)				8.2km	7便



## 9 公共交通圏域カバー率

ひまわりバスの路線再編により、市内各地域から公共交通を利用できるか把握するため、公共交通のカバー状況（鉄道駅から800m、バス停から300m）を確認します。

図 ひまわりバス圏域図 鉄道・路線バス・（再編）ひまわりバス



平成 27 年度夜間人口	71,902 人
公共交通圏域カバー率【再編前】	89.61%
公共交通圏域内人口【再編前】	64,431 人
公共交通圏域カバー率【再編後】	79.18%
公共交通圏域内人口【再編後】	56,932 人

※鉄道駅から800m、名鉄バス及びひまわりバスのバス停から300mを交通圏域とする。  
 ※各人口は人口メッシュを用いて面積按分により算出した値。

路線再編前と再編後の交通圏域カバー率を比べると、人口密集地である館区内及び広範囲において3号路線がカバーしていた東沓掛区の路線撤退により、約10.5ポイントの減少となりましたが、撤退した両地区については、地域路線を代替手段として導入することにより、路線撤退により減少したカバー率を補います。



## 10 ひまわりバスの評価と見直し

### (1) ひまわりバスの評価

年度単位で、バス路線ごとの利用者数、収支率、各バス停の乗車数を評価します。評価の結果、改善が必要な場合には公共交通会議において協議を行い、改善策を実施します。

また、改善策を実施してもなお利用者数等が増えない場合には、路線やバス停の変更を検討します。

### (2) 評価指標

項目	指標
バス路線ごとの利用者数	※ 路線確定後、利用見込みから算出
各バス停の乗車数	※ 路線確定後、利用見込みから算出

### (3) 網形成計画におけるひまわりバスの目標値

また、網形成計画では、ひまわりバスに関して平成33年度までに次の目標を掲げ、目標達成に向けて、毎年度評価していくこととしており、上記評価と並行して次の評価も行っていきます。

表：網形成計画の目標と目標値【ひまわりバス】

項目	平成 28 年度	平成 33 年度
年間のひまわりバス利用者数	16.8 万人	25.7 万人以上
市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	59.3%	66.5%
ひまわりバス⇔名鉄急行列車（名古屋方面）間 3分以上10分以内乗り継ぎ可能本数※	29 本	34 本以上
乗り継ぎの際の待ち時間に関する不満度	35.4%	20%未満

※ 名鉄急行列車及びひまわりバスともに、定時刻で発着した場合を想定。

(資料：網形成計画)

**問合せ先**

豊明市 行政経営部 とよあけ創生推進室  
〒470-1195 愛知県豊明市新田町子持松1番地1  
TEL 0562-92-8362 (直通) / FAX 0562-92-1141  
E-mail [sousei@city.toyoake.lg.jp](mailto:sousei@city.toyoake.lg.jp)